

# 会員研修会報告書

## シーカヤックツアーの安全管理

### 開催概要

開催日程：2018年10月10日及び11日

開催場所：岩手県宮古市（浄土ヶ浜～田老漁港周辺海域）

参加者数：10日2名（イントラ K1 1名、K ベーシック 1名）、11日2名（sea-son 鈴木氏、K ベーシック 1名）

講師：JSCA インストラクタートレーナー 中村昭彦（一滴 Paddle&Mountain Guide）

JSCA インストラクタートレーナー 紺野祐樹（アースクエスト）

### 主な研修内容

10月10日

宮古市中の浜～浄土ヶ浜

中の浜～浄土ヶ浜を往復するコースで、受講者をガイド役に、模擬ツアーを行った。途中、「何か判断をするポイント」で講師及び他の参加者に自分が何をどう判断したのかを伝える形で、ガイドがどこでどんな判断をするのかを共有しながら模擬ツアーを進めた。



10月11日

宮古市中の浜～田老漁港

前日と同様の形で、コースを変えて模擬ツアーを行った。導入として、講師が最初にガイド役を担当し、どのような形で自分の「判断」を共有すればよいのかをデモしてから参加者がガイド役になる形で行った。ガイド役により詳細な情報共有を促す効果があったと考える。



## 担当講師所見

### 紺野

インストラクター/ガイドの現場での最も重要な要素は、「想定力」と「判断」になります。その「想定力」を高める一つの手法として、ガイドが自分の「判断」をシェアしながら進める模擬ツアーは非常に有効です。今回、1日目は比較的ガイド経験の少ない参加者だったので、岬の先端部や風が通り抜ける場所、風裏・波裏などの重要なポイントでしっかりと「想定」とそれに基づく「判断」が不十分（ベターではなかった）なことや、細かなコース設定に齟齬が見られましたが、いずれも致命的なミスとまでは言えないものでした。初日に参加の2名には、今後の課題をしっかりと伝えることができました。

2日目は、現地の公認スクール sea-son 代表の鈴木氏の参加が得られたこともあり、非常に有意義な模擬ツアーができました。ガイドそれぞれのリズム感や、判断ポイントなどが共有できました。

### 中村

普段ガイドはどのようなことを想定して、それをどのように判断し行動するのかを言葉にすることはあまりありません。あえて言葉にすることで自分自身の意識の再認識に繋がりますし、他の方には新たな引き出しの取得になります。このような研修を3年続けてきましたが、今回の進め方は比較的わかりやすく、今後に繋がるのではないかと感じました。そしてこのような機会を多く作ることが非常に重要であると感じました。